

1. 講座名	アタックツリーを利用した脅威分析演習
2. 講座概要	本講座では、2日間にわたり、アタックツリーを利用した脅威分析演習を行います。まず、1日目はアタックツリーの基礎及びツールを利用した脅威分析の演習を実施します。その上で、2日目ではより具体的な題材として、RCカーを用いてアタックツリーの演習を行います。また、2日目ではRCカーに対して、実際にCANメッセージを注入する攻撃により、脅威が実現するかを体験します。さらに、時間が許せば、導出された脅威に対するセキュリティ強化策を議論する。
3. 想定する受講者	自動車業界の技術者のみ(特に自動車部品サプライヤ、自動車メーカーの担当者)
4. 習得する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アタックツリーを用いた脅威分析手法</li> <li>・R/Cカーを利用したより実践的な脅威の導出</li> </ul>
5. 受講の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの基礎的な用語を理解していること</li> </ul>
6. 日数(時間数)	2日(計12時間)
7. 最大受講人数	20名
8. セミナー講師	名古屋大学 倉地亮 ガイオテクノロジー 竹内成樹・小野嘉翔 シーエーブイテクノロジーズ 田口研治
9. 受講者の制限	あり 想定する受講者以外は受け入れない。 ガイオテクノロジー社の競合他社も受け入れない。
10. 実習機材	講義当日は、受講者1人に以下の実習教材1セットをお貸しします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発用ホストPC</li> <li>WindowsPC, 使用するツール類をインストール済み</li> <li>・ターゲットプロセッサ</li> <li>RH850F1L</li> <li>・実行環境</li> </ul> モデルカーについては5名で1台程度の機材を共有していただきます。  ※機材の準備については、セミナー講師が実施します。
11. 到達目標	アタックツリーを利用した脅威分析手法を理解する。 その上で、より具体的な題材を利用することにより、理解度の定着と実践的な利用方法を体験する。
12. 講座計画	1日目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・脅威分析手法(アタックツリーなど)を学ぶ</li> <li>・脅威分析に使用するツールの機能とその効果を学ぶ</li> <li>・アタックツリーを利用した脅威分析とリスク算定方法を学ぶ</li> </ul> 2日目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R/Cカーに実装される機能を理解する</li> <li>・R/Cカーの機能を題材とした脅威分析演習を行う</li> <li>・議論</li> </ul>